

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルのお家みよし		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日		2025年 1月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・人との関わりを多く持ってもらいたいため、スマホやタブレット、テレビなどのデジタル機器をいらず、アナログ的な集団遊びをメインに行っている。	・活動の時間はなるべく利用者全員で遊ぶことができるよう、ひとり遊びが好きな利用者にも無理のない程度で声掛けをし、少しの時間でも参加できるように促している。 ・カードゲームやボールを使った遊びを多く取り入れ、複数人でできる遊びを企画している。	・遊びのバリエーションを更に増やしていくために、職員同士でアイデアを出し合って、利用者を楽しんで過ごしてもらえるよう計画を立てていく。
2	・静かな場所で回りに危険は少ない。 ・室内は広く、数もあるので安全に利用者を預かる事ができると同時に、ダイナミックな遊びも可能。	・特性に応じて生活する部屋を分けたり、活動の際は広い部屋をしっかりと活用して身体をしっかりと動かせるような遊びも取り入れている。	・ブランコやサイバーホイールなど大きな遊具を使って遊ぶ際に、楽しさだけでなく順番を待ったり、順番を譲るなどの社会性や協調性の部分にもしっかりと目を向けて活動を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員間で情報の共有ができていない事がある。	・送迎等もあり、職員全体で話ができる時間が限られている。	・要点をまとめて、限られた時間の中でも確実に共有できるようにする。よかったことだけではなく、困ったことや、わからない事も共有できるように、ノートなどを用いて記録したりする。発言しやすい雰囲気づくり。
2	・保護者同士の交流や外部の方との交流、他事業所との交流が少ない。	・これまでそういった行事に取り組んだことがほとんどなく、発案自体がなかった。 ・交流会のような行事に対して賛否が分かれる。	・前向きにアイデアを出し合い、具体化していく。 ・早めに計画を立て、できる限り参加できるようにすると同時に、利用者に危険がないよう職員全体でシミュレーションを行う。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマイルのお家みよし

公表日 年月日

利用児童数 2025年1月28日現在 17名

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	4	1	0	・年齢の幅があるので狭いかなと思います。	・活動の場を分けたりするなどの工夫をします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	4	0	0	・本人の課題に理解と支援をしてもらっていません。 ・あまり把握していない。 ・職員さんのことはあまり分からない。	・引き続き適切な人員配置をしていく。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	4	1	0	・トイレの問題など。	・改修が難しいところもあるので、安全に使用して頂けるように配慮する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1	0	4		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	4	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	3	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0	・聞き取りを十分にしてもらい、事業所の様子も教えて頂いた上で作成してもらっています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	4	1	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	0	0	・いつも楽しんで予定表を見えています。	・利用者、保護者の方に楽しみにして頂けるよう工夫していく。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	3	7	0	・不要と思います。 ・今はそんな機会はないと思います。	・いろんな意見を踏まえて、前向きに検討していけたらと思う。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	6	4	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	0	8	4		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1	0	0	・支援方法が家と事業所、学校で同じようにと考えてもらっていると思います。	・引き続き、適切な支援ができるように伝え合いをしていく。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	4	2	4		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	8	6	0	・不要と思います。 ・保護者でつながることができるようなイベントなどがあると嬉しいです。	・意見やアイデアを出し合い、可能であれば計画していきたいと考えている。	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	3	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0	・ノートやお便りでしてもらっています。	・連絡帳を用いたり、可能な限り送迎時などにお話ができるようにする。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	3	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	9	1	0	・何かあった時の避難場所などは知りません。風邪などの場合はすぐ連絡はしてもらっています。	・周知・説明を行っていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	3	5	3	・わかりません。	・実施状況を保護者にもお伝えする。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	3	5	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0	・いつも安全に配慮して下さいありがとうございます。	・より満足して頂けるよう支援の質を向上させていきたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スマイルのお家みよし				公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	特性に応じて、生活スペースを分けるなどの対応はできている。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	0	特性を鑑みて、可能な限り人員を配置するよう心掛けている。	急な職員の休み等の非常時の対応			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	概ね配慮されている。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	4	極力毎日の清掃・消毒を心がけている。	細かい箇所まで掃除ができていない事があるので、気を付けていきたい。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	0	8	職員ミーティングで共有している。	職員間の話ができない事が多いので、話をする機会を設ける。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	ミーティングに参加できていない職員にも改めて確認・共有ができています。	誰でも気軽に話ができるよう、ミーティングの内容を考える必要がある。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		・第3者を介入させることが難しい。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・個人が任意のタイミングで研修を受けられるようになっている。				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	5		・状況に応じて組み合わせたり、使い分けていきたい。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	0	8		可能な限り固定化しないよう心がける。職員間で話ができるといいと思う。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	4		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		気づいた事を誰でも話せるよう、ミーティング内容を考えていく必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	0	8	送迎等の関係で翌日に行っている。	良かったことだけでなく、困ったことやわからないことも職員間で共有したい。ノートなどにメモしておく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	6		振り返りのため記録が大事だと感じている。見直し等、もう少し振り返りが必要。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	個別にホワイトボード等を用いて、こどもが自身でプログラムを作成できるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	0	8		可能であればしていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	8		・他事業所との関わりが少ない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	8	いつでも情報の提供はできるようにしてある。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	8		現状はないが、できたら機会を設けたいと考えている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		現状はないが、検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		送迎時に話をする事が多いが、その日の良かった事ぐらいしか伝えられていないので、しんどかった事なども共有していきたい。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	8		個別での面談等は行っているが、研修等は難しい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	4		基本的に聞くだけになっていて、助言等はできていないのが現状。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8		機会を設けて欲しいとの声もあるので、検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	3	日々の子どもの様子を載せた月間の行事予定を発行して保護者の方に配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0			